

現 場 説 明 書（技術的事項）

工事名 福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市大谷台交流館他 9 施設です。工事期間中も、通常どおり施設の利用があります。

2. 留意事項

- ① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- ② 本工事は建設リサイクル法に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）の計画書・実施書を提出してください。
- ③ 現場代理人及び主任技術者については、契約約款・建設業法等に違反とならないよう適切に配置し、当該工事の施工管理を行ってください。
- ④ 工事期間中は施設利用者・職員及び第三者の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じてください。
- ⑤ 工事によって既存工作物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。なお、損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- ⑥ 施設管理者と日程調整を密接に行い監督員の承諾を受けた後、施工してください。工程表は契約後 1 4 日以内に提出してください。その際、作業工程については監督員及び施設管理者と十分に協議調整の上、作成してください。また、施行計画書等は速やかに提出してください。
- ⑦ 工事の施工上、官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑧ 別途関連工事業者との調整を行い、円滑な工事の遂行に努めてください。

3. 別途関連工事

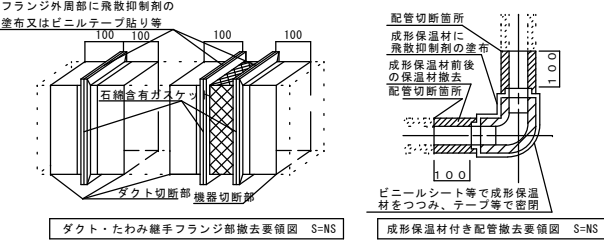
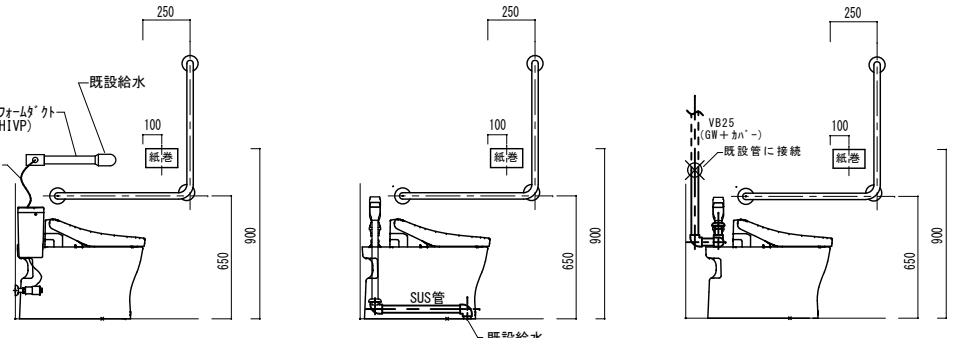
電気設備工事

福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事

図 面 リ ス ト	
図 番	図 面 名 称
M/1	特記仕様書No.1
M/2	特記仕様書No.2
M/3	(大谷台交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/4	(引野交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/5	(大門交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/6	(旭丘交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/7	(緑丘交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/8	(野々浜交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/9	(春日交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/10	(幕山交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/11	(日吉台交流館) 附近見取図・平面図・平面詳細図
M/12	(緑丘交流館春日コミュニティ館) 附近見取図・平面図・平面詳細図

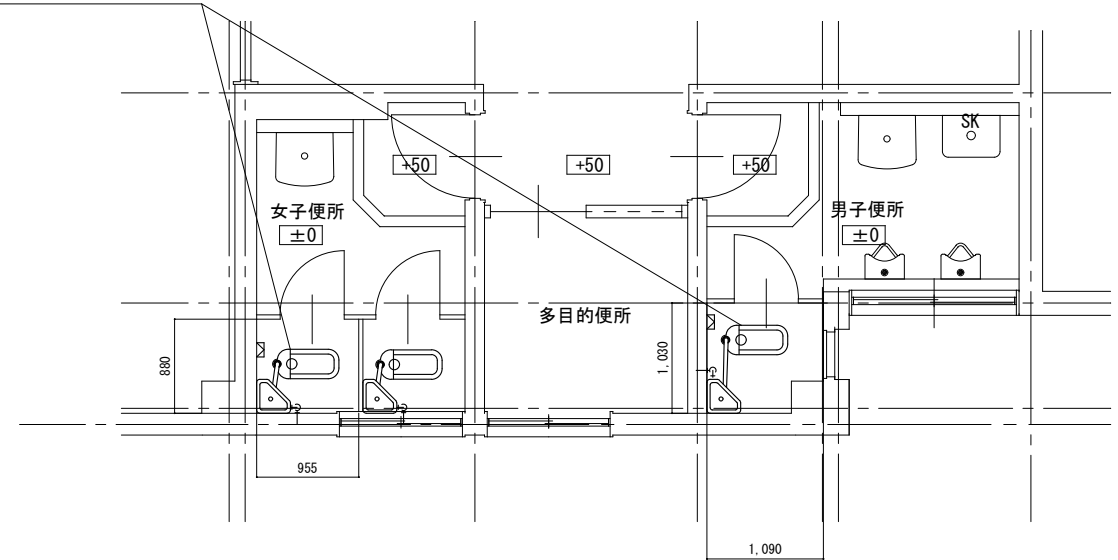
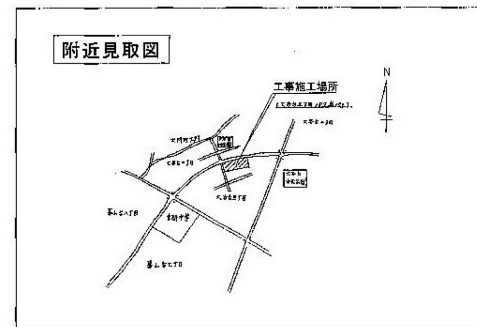
福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課

 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課					
主務	係員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長

排水設備	① 管 (第1層まで)	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) V P (・ 露出部 カラー V P) ・ 排水用給管 (S H A S E - S 2 0 3) ・ コーティング鋼管 ・ 結露防止層付塩化ビニル管 ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 2) S G P 2 通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) V P (・ 露出部 カラー V P) ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 3 満水試験継手 3 階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。 4 ビット内配管保温 ・ 施工する ・ 施工しない (屋 外) 5 方式 ・ 自然排水 ・ ポンプ排水 6 管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (J I S K 6 7 4 1) (・ V P ※ V U) 7 インパート樹 ・ S A , A B 形 ・ S C 形 ・ 小口径 8 インパート樹用蓋 ・ 塩ビ製 ・ 鉄鉄製 (・ M H A ・ M H B ・ 小口径用防護ハット) 9 排水樹 ・ R A , R B 形 ・ S C 型 ・ 小口径 10 排水樹用蓋 ・ 塩ビ製 ・ 鉄鉄製 (・ M H A ・ M H B ・ 小口径用防護ハット) ・ グレーチング ・ 鉄板製 φ 6 m / m 11 埋設深さ ・ 300 m / m 以上 (車両道路以外) ・ 600 m / m 以上 (車両道路) ・ 勾配図による。 12 その他 ・ 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・ 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上満水試験を行う。	ガス設備	1 種別 2 管 3 継手 4 プロパンガス集合装置 5 機器等 6 遮断装置等 7 その他	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 2) (白管) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (J I S G 3 4 5 4) (黒管) ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ ガス用ポリエチレン管 (J I S K 6 7 7 4) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (J I S G 3 4 6 9) ・ 塩化ビニル被覆鋼管 ・ 鋼管継手 (亜鉛メッキ) ・ P L S 継手同等品以上 ・ 溶接継手 ・ () k g × () 本立 ・ 無 ・ バルク貯槽 () k g ・ 壁型 ・ 模型 ・ 別図による 遮断弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。	6 保温 下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ 2 5 m m , 範囲は機器から外壁の間) ・ 厨房等多湿箇所のダクト (仕様は h ・ (ア) ・ D X とし範囲は機器から外壁の間) ・ O A ダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ 2 5 m m) ・ E A ダクト 外壁より 1 m (保温の厚さ 2 5 m m)	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録 ・ 有り (構成機能図は図示による) ・ 無し ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。	石綿含有設備資材の処理について
	給湯設備	1 方式 2 管 3 弁 4 熱源 5 脚張水槽 6 その他		・ 単管式 ・ 複管式 ・ 鋼管 (J I S H 3 3 0 0) (・ M タイプ ・ L タイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径 2 0 までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 保温付被覆鋼管 (J I S H 3 3 0 0 の外面に断熱材 (1 4 m m 以上) が被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリプテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ホイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート 1 回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	1 設計条件 2 冷水・温水・冷却水 冷温水管 膨張・補給水管 3 蒸気・油管及び冷媒管 4 ブライン管 5 給水及び排水管 6 ファンコイルユニット 及びパッケージエアコン 7 フレキシブルジョイント 8 吹出口・吸込口 9 防煙・防火ダンパー 10 風道 11 冷温水管の空気抜 12 その他	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (J I S G 3 4 4 2) S G P W ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (J I S G 3 4 4 8) S U S 3 0 4 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P ・ 断熱材被覆鋼管 (J C D A 0 0 0 9) 冷媒管の保温外装 屋内露出 ・ 合成樹脂カバー (A 1 ・ (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース (耐候性樹脂製) 屋外露出 ・ ステンレス鋼板 (E 2 ・ (ア ・ イ) ・ V I) ・ 保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐候性樹脂 ・ ステンレス鋼板 ・ 高耐熱鋼板 (溶融亜鉛めっき) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (J I S G 3 4 5 2) S G P 給、排水設備の項による。 ・ 床置形 ・ 天吊形 (・ 露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形) ・ ・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製 ・ 枠及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製 ・ 防煙ダンパー (S D) ・ 防火ダンパー (F D) ・ 防煙防火ダンパー (S F D) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復機機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注 : 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧 1 ダクト ・ 高圧 2 ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンパーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンパーの装着枚数の () % を予備品 (特付) として納める。	Ⅰ. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約 1 0 0 m m の箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約 1 0 0 m m の箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にかららない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約 1 0 0 m m の箇所において慎重に行う。 Ⅱ. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※ 搬出費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき機外搬出適切処理とする。 (3) 機外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。	
浄化槽設備	1 処理種別 2 構造 3 形式・容量 4 排水方式 5 マンホール 6 その他	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 ・ 放流水質 (・ B O D m g / 以下 ・ C O D m g / 以下) ・ T - N m g / 以下 ・ T - P m g / 以下) ・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ・ その他 () ・ ユニット型 (型 人槽 / 日) ・ 現場施工型 (人槽 / 日) ・ 自然排水 ・ ポンプ排水 () ・ M H A 型 ・ M H B 型 ・ 製造者の規格品 工事竣工後、6 ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。	1 ダクト 2 風量測定口 3 ダンパー 4 排気ダクトのシール 5 チャンパー	低圧ダクト (・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法 (・ 共板 ・ スライド) ・ アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一番手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注 : 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 取付位置は (・ 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト) とする。 空気調和設備の当該項目による。 ・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統 空気調和設備の当該項目による。	 (参考) 改修後展開図 1 : 2 0			
備	福山市大谷台交流館他9施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事				M 2			
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 No. 2								
福山市建設局建築部設備課								

特記事項

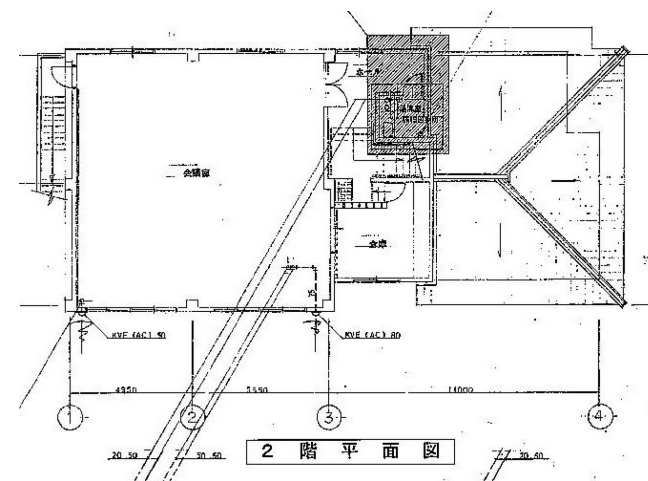
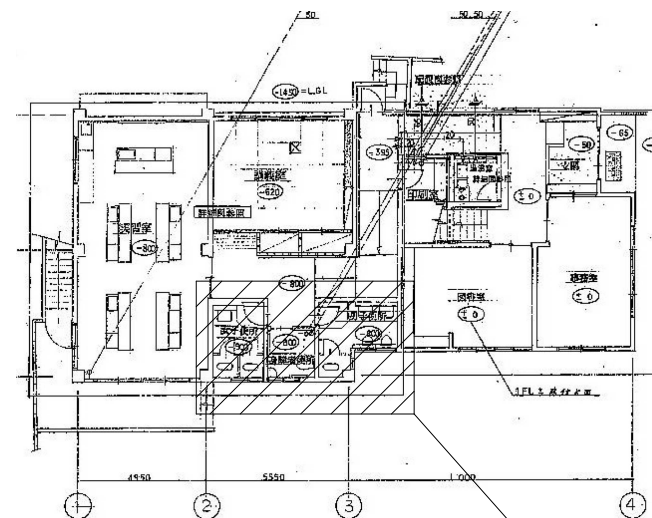
- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
- ・既設給水管と機器の間はフレキ管にて施工を行う。
- ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。
- ・トイレブースの改修は本工事とする。



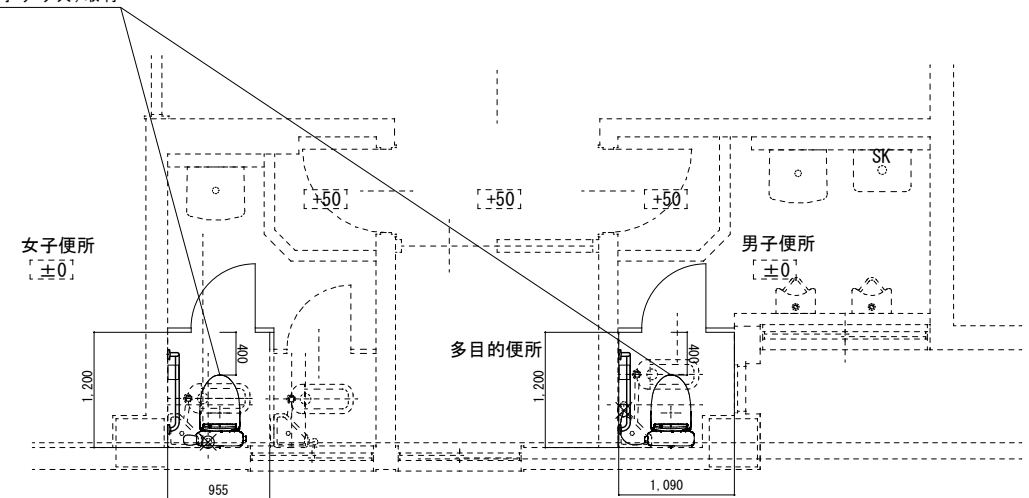
器 具 名（参考品番）	数 量
大便器（CFS498BMT） 排水芯可変タイプ	2
温水洗浄便座（TCF588）	2
紙巻器（YH51R）	2
手すり（T112CL9）	2

トイレブース 仕様	
メラミン化粧板フラッシュ	見込 40
h=1750 アルミエッジタイプ・グラビティヒンジ・ スライドラッチ錠(表示付)・戸当り帽子掛け・ ステンレス製巾巾・標準金物一式	
芯材：ペーパーコア サイン：カッティングシート	

改修前
便所平面詳細図 1:50



工事場所



改修後
便所平面詳細図 1:50

	工 事 名	福山市大谷台交流館他9施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事			 福山市建設局建築部設備課						図面NO.
											M 3
	図面名称	附近見取図 平面図	S=N.S.	2026年 8月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	
		平面詳細図	S=1:50								

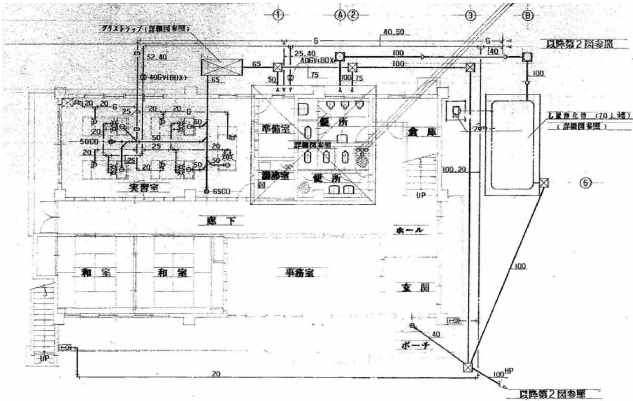
工事場所：福山市引野交流館 1 階便所
住所：福山市引野町4013番地1

- 特記事項
- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
 - ・既設給水管とフラッシュバルブ間はSUS管にて施工を行う。
 - ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。
 - ・トイレブースの改修は本工事とする。

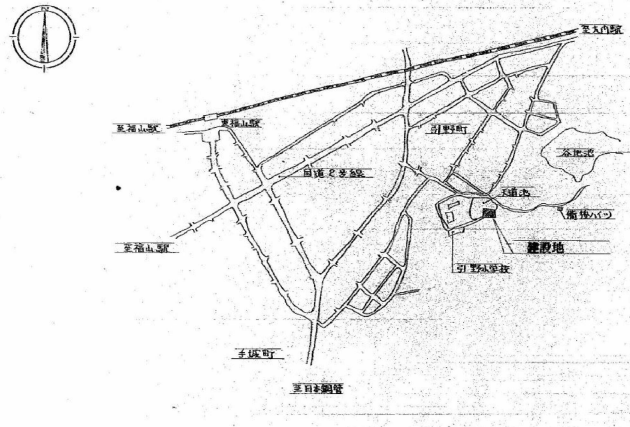
機器リスト（新設）

器具名（参考品番）	数 量
大便器 (CFS494MNHNS) 排水芯可変タイプ	1
温水洗浄便座 (TCF588), 分岐金具 TH343	1
紙巻器 (YH51R)	1
手すり (T112CL9)	1

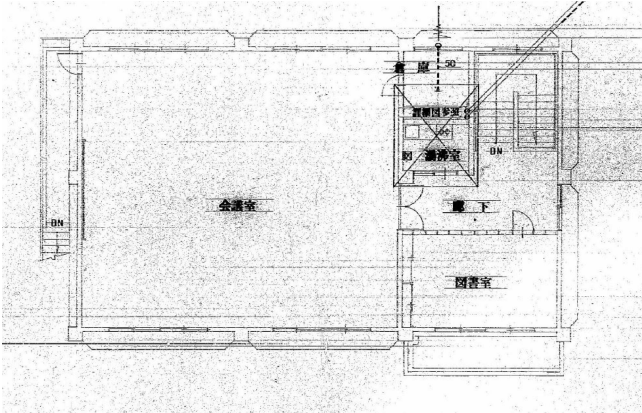
トイレブース 仕様	
メラミン化粧合板フラッシュ	見込 40
h=1750	
アルミエッジタイプ・グラビティヒンジ・	
スライドラッチ錠(表示付)・戸当り帽子掛け・	
ステンレス製巾木・標準金物一式	
芯材：ペーパーコア	
サイン：カッティングシート	



1 階平面図 S=N. S.

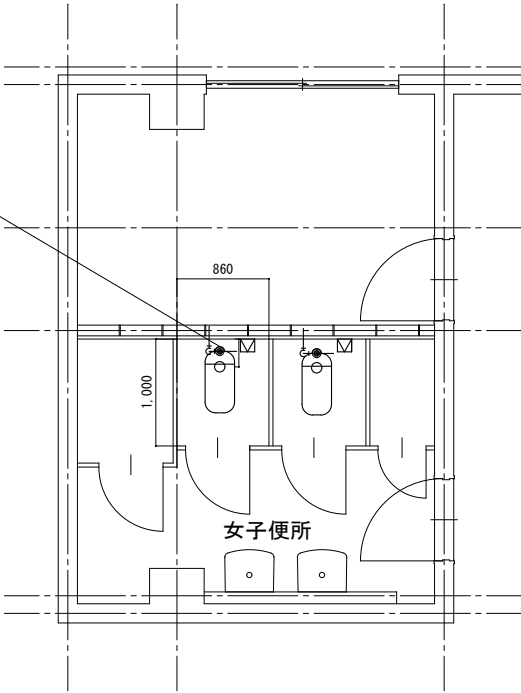


附近見取図 S=N. S.



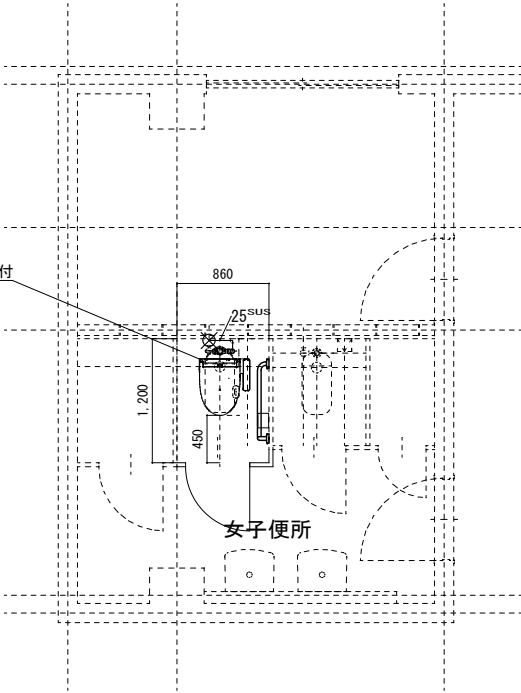
2 階平面図 S=N. S.

既設便器(紙巻器共)撤去
床モザイクタイル(口25)補修



改修前
便所平面詳細図 1:50

洋風大便器(紙巻器・手すり共)取付
トイレブース改修



改修後
便所平面詳細図 1:50

	工 事 名	福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事				福山市建設局 建築部 設備課						図 面 N O .	
						主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	M	
	図 面 名 称	附近見取図 平面図	S=N. S.	2 0 2 6 年 8 月									
		平面詳細図	S=1:50									4	

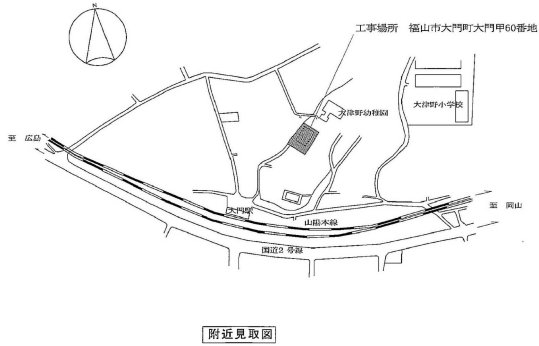
工事場所：福山市大門交流館 1 階便所
住所：福山市大門町大門甲60番地

- 特記事項
- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
 - ・既設給水管とフラッシュバルブ間はSUS管にて施工を行う。
 - ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。
 - ・トイレブースの改修は本工事とする。

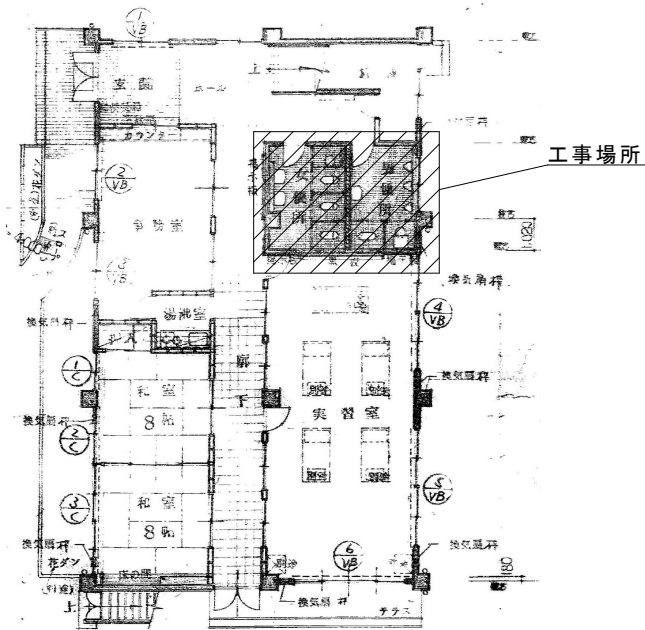
機器リスト（新設）

器具名（参考品番）	数 量
大便器 (CFS494MNHNS) 排水芯可変タイプ	1
温水洗浄便座 (TCF588), 分岐金具 TH343	1
紙巻器 (YH51R)	1
手すり (T112CL9)	1

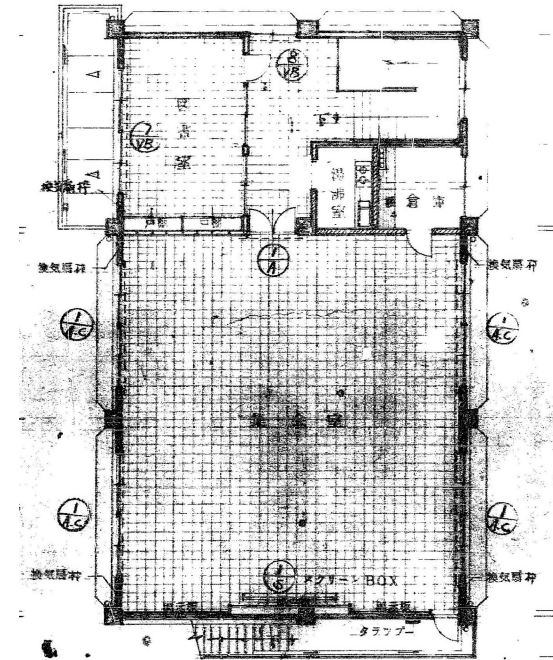
トイレブース 仕様	
メラミン化粧合板フラッシュ	見込 40
h=1750	
アルミエッジタイプ・グラビティヒンジ・	
スライドラッチ錠(表示付)・戸当り帽子掛け・	
ステンレス製巾木・標準金物一式	
芯材：ペーパーコア	
サイン：カッティングシート	



附近見取図 S=N. S.

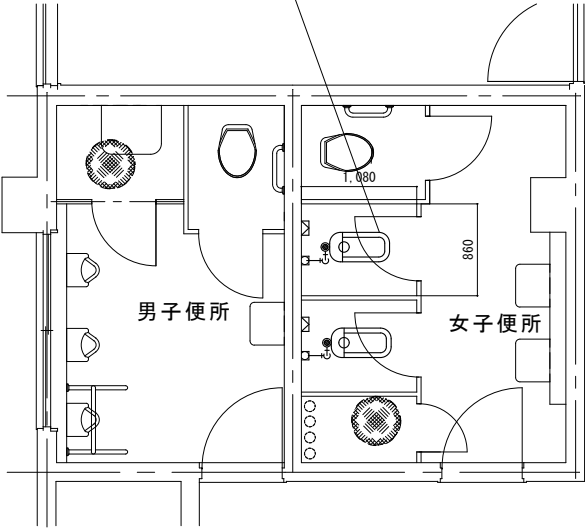


1 階平面図 S=N. S.



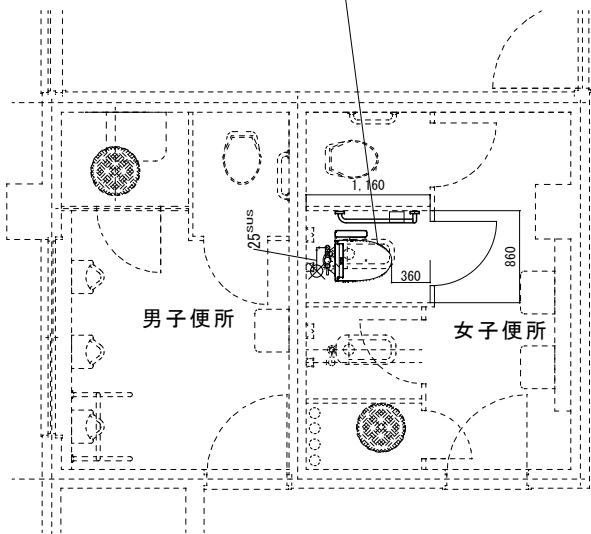
2 階平面図 S=N. S.

既設便器(紙巻器共)撤去
床モザイクタイル(□25)補修



改修前
便所平面詳細図 1:50

洋風大便器(紙巻器・手すり共)取付
トイレブース改修



改修後
便所平面詳細図 1:50

	工 事 名	福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事			 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課						図 面 N O .
					主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	M
	図 面 名 称	附近見取図 平面図	S=N. S.	2 0 2 6 年 8 月							5
		平面詳細図	S=1:50								

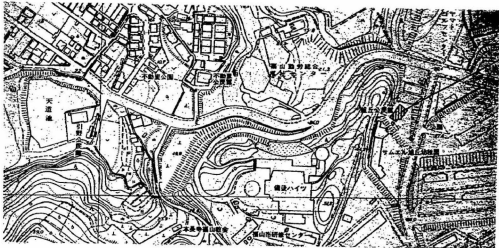
工事場所：福山市旭丘交流館 1 階便所
住所：福山市引野町南一丁目17番46号

- 特記事項
- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
 - ・既設給水管とフラッシュバルブ間はSUS管にて施工を行う。
 - ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。
 - ・トイレブースの改修は本工事とする。

機器リスト（新設）

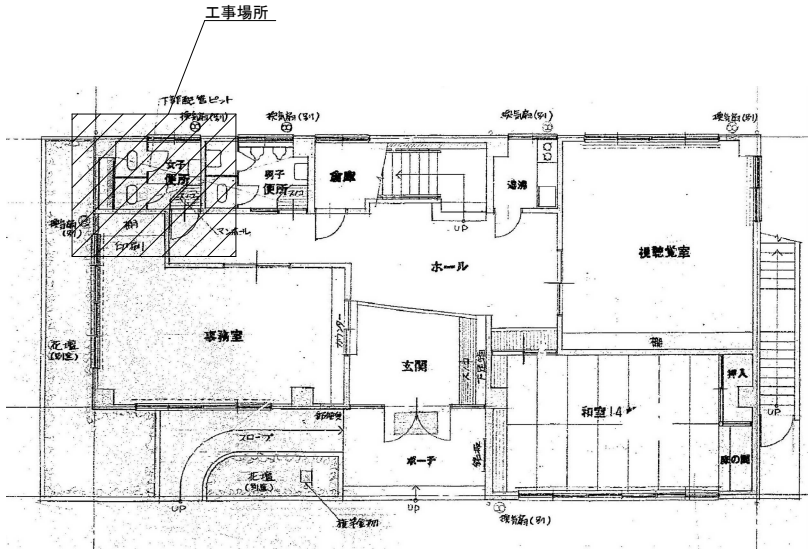
器具名（参考品番）	数 量
大便器 (CFS494MNHNS) 排水芯可変タイプ	1
温水洗浄便座 (TCF588) ,分岐金具 TH343	1
紙巻器 (YH51R)	1
手すり (T112CL9)	1

トイレブース 仕様	
メラミン化粧板フラッシュ	見込 40
h=1750	
アルミエッジタイプ・グラビティヒンジ・	
スライドラッチ錠(表示付)・戸当り帽子掛け・	
ステンレス製巾木・標準金物一式	
芯材：ペーパーコア	
サイン：カッティングシート	

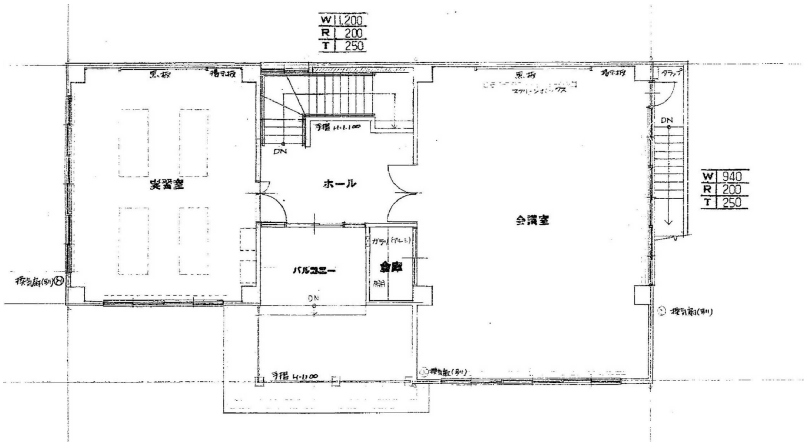


附近見取図

附近見取図 S=N. S.

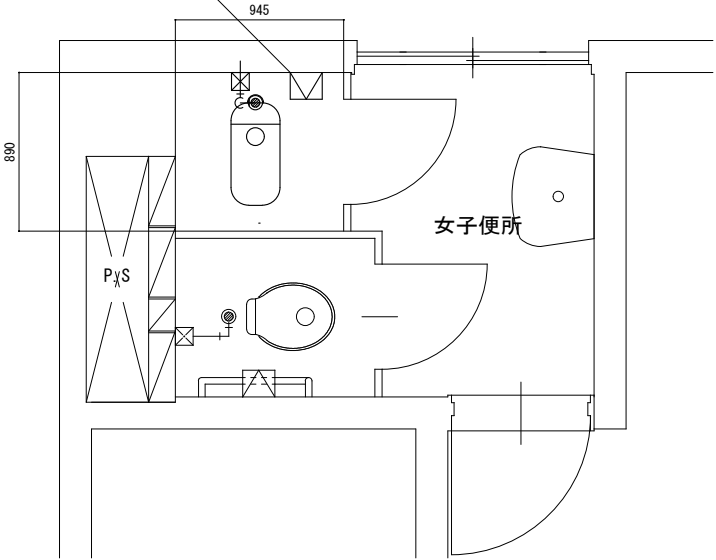


1 階平面図 S=N. S.



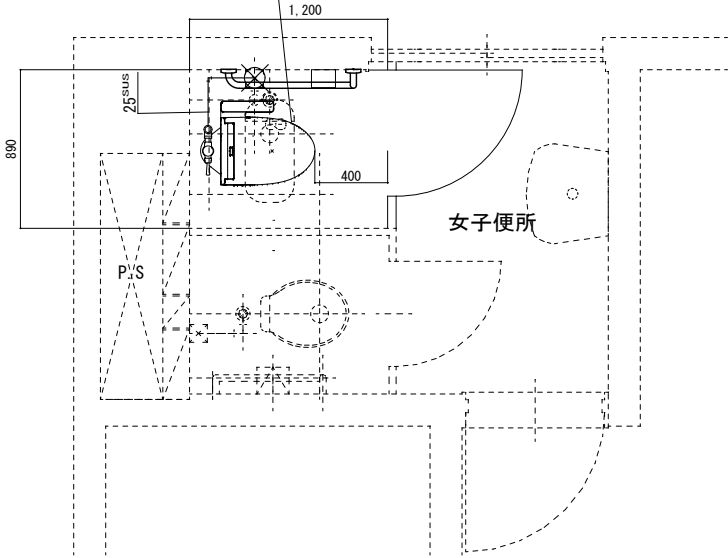
2 階平面図 S=N. S.

既設便器(紙巻器共)撤去
床モザイクタイル(□25)補修



改修前
便所平面詳細図 1:30

洋風大便器(紙巻器・手すり共)取付
トイレブース改修



改修後
便所平面詳細図 1:30

				福山市建設局建築部設備課							図面NO.
工 事 名				福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事							M
図面名称				附近見取図 平面図	S=N. S.	2026 年 8 月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	
				平面詳細図	S=1:30				設備課長	建築部長	6

工事場所：福山市緑丘交流館 1 階便所
住所：福山市春日町五丁目16番3号

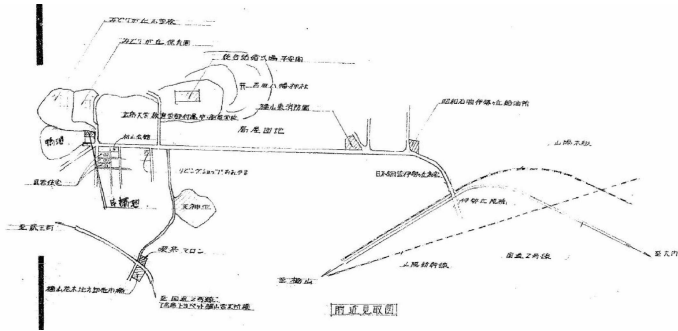
- 特記事項
- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
 - ・既設給水管とフラッシュバルブ間はSUS管にて施工を行う。
 - ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。
 - ・トイレブースの改修は本工事とする。

機器リスト（新設）

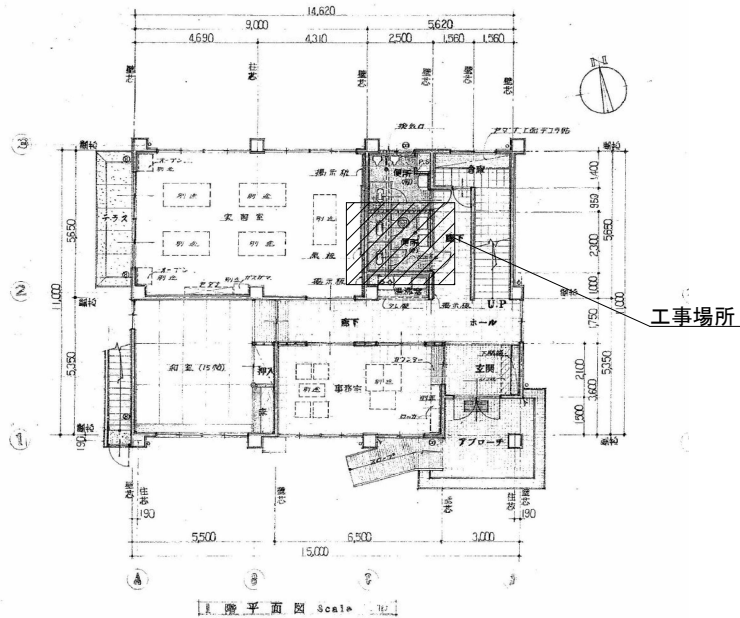
器具名（参考品番）	数 量
大便器 (CFS494MNHNS) 排水芯可変タイプ	1
温水洗浄便座 (TCF588) , 分岐金具 TH343	1
紙巻器 (YH51R)	1
手すり (T112CL9)	1

トイレブース 仕様

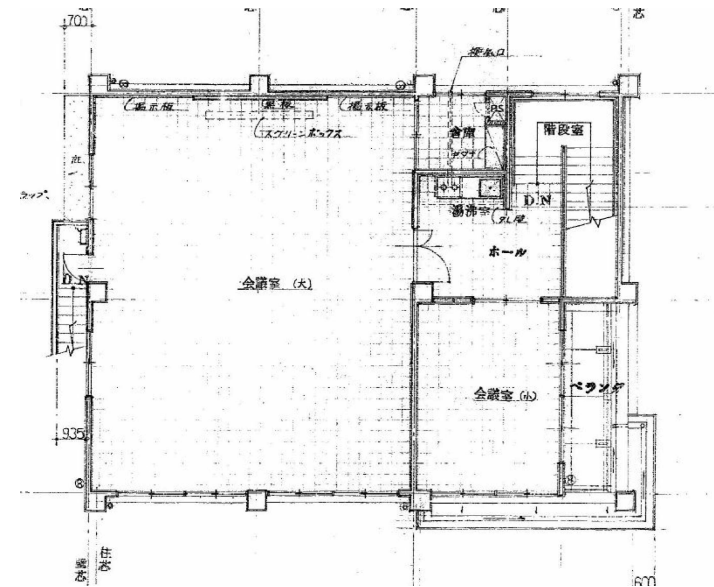
メラミン化粧合板フラッシュ	見込 40
h=1750	
アルミエッジタイプ・グラビティヒンジ・	
スライドラッチ錠(表示付)・戸当り帽子掛け・	
ステンレス製巾木・標準金物一式	
芯材：ペーパーコア	
サイン：カットिंगシート	



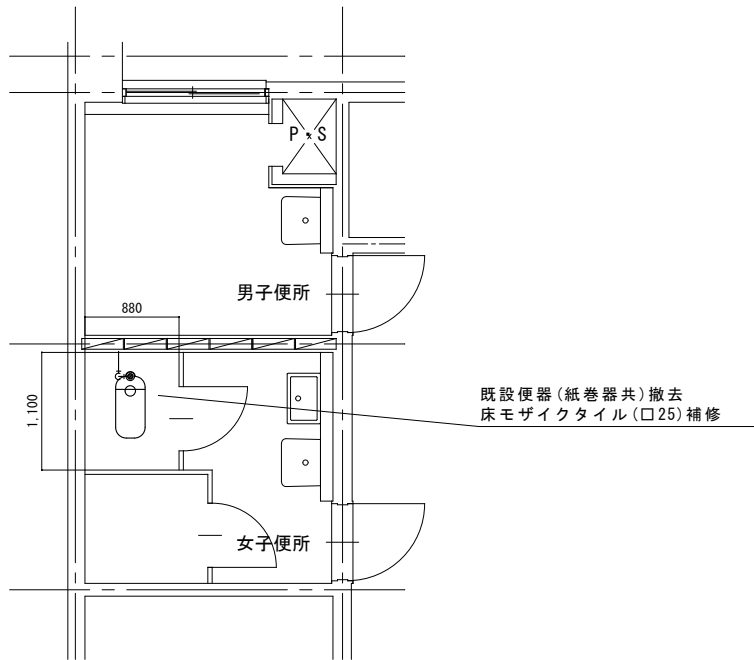
附近見取図 S=N. S.



1 階平面図 S=N. S.

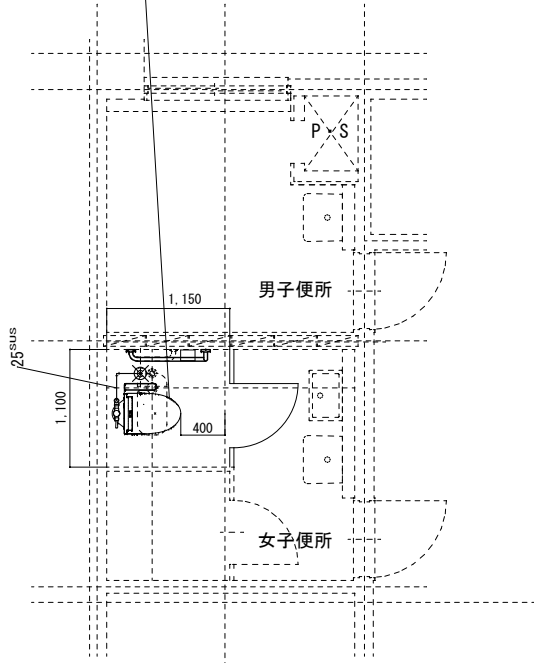


2 階平面図 S=N. S.



改修前
便所平面詳細図 1:50

洋風大便器(紙巻器・手すり共)取付
トイレブース改修



改修後
便所平面詳細図 1:50

	工 事 名	福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事				福山市建設局 建築部 設備課						図 面 N O .	
		図 面 名 称	附近見取図 平面図	S=N. S.	2 0 2 6 年 8 月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	M	7
			平面詳細図	S=1:50									

	工 事 名	福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事		 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課						図 面 N O .	
										M	
	図 面 名 称	附近見取図 平面図	S=N. S.	2 0 2 6 年 8 月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	8
		平面詳細図	S=1:50								

工事場所：福山市春日交流館 1 階便所
住所：福山市春日町三丁目6番17号

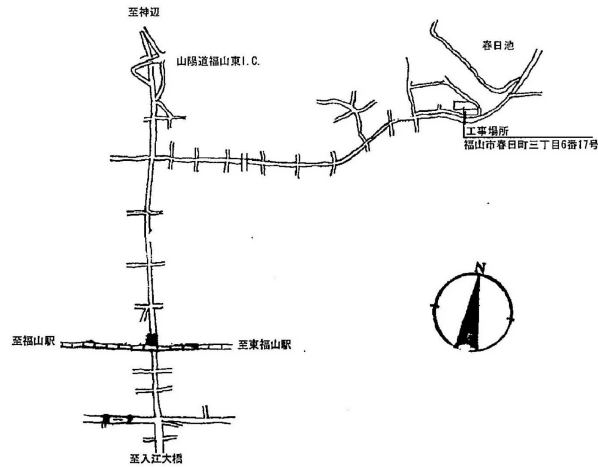
- 特記事項
- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
 - ・既設給水管とフラッシュバルブ間はSUS管にて施工を行う。
 - ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。
 - ・トイレブースの改修は本工事とする。

機器リスト（新設）

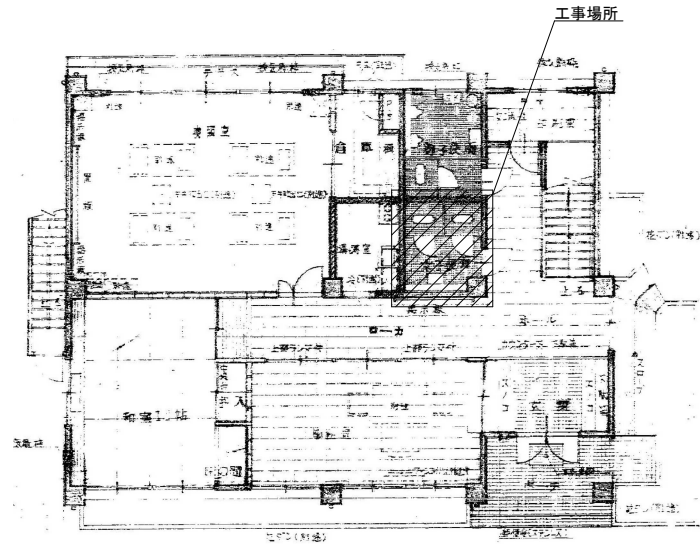
器具名（参考品番）	数 量
大便器 (CFS494MNHNS) 排水芯可変タイプ	1
温水洗浄便座 (TCF588), 分岐金具 TH343	1
紙巻器 (YH51R)	1
手すり (T112CL9)	1

トイレブース 仕様

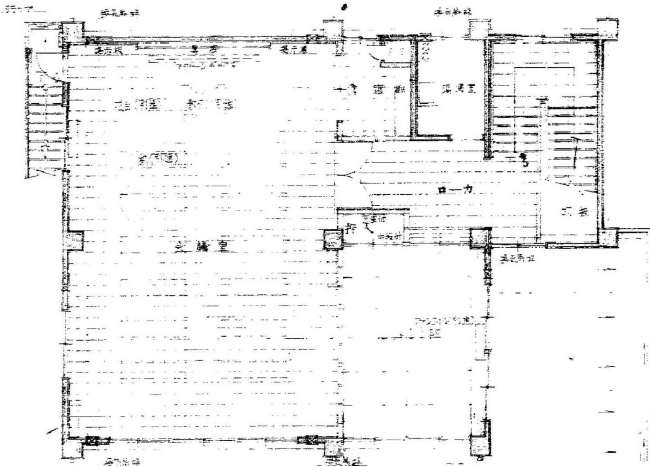
メラミン化粧合板フラッシュ	見込 40
h=1750	
アルミエッジタイプ・グラビティヒンジ・ スライドラッチ錠(表示付)・戸当り帽子掛け・ ステンレス製巾木・標準金物一式	
芯材：ペーパーコア	
サイン：カッティングシート	



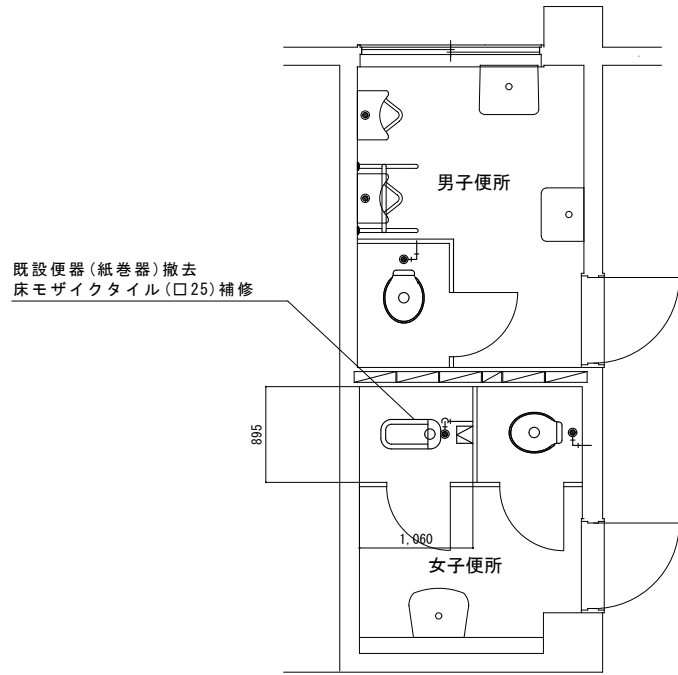
附近見取図 S=N. S.



1 階平面図 S=N. S.

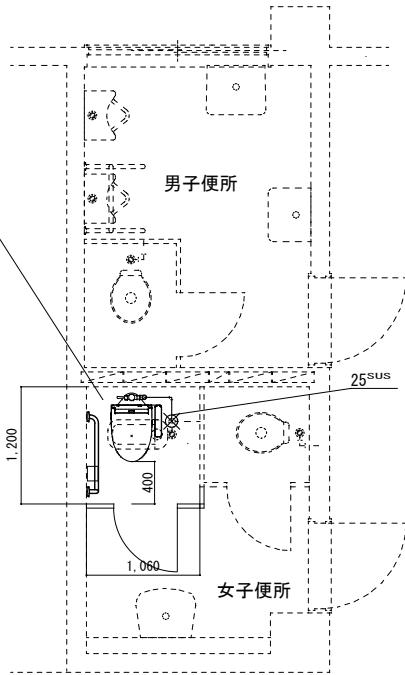


2 階平面図 S=N. S.



改修前
便所平面詳細図 1:50

洋風大便器(紙巻器・手すり共)取付
トイレブース改修



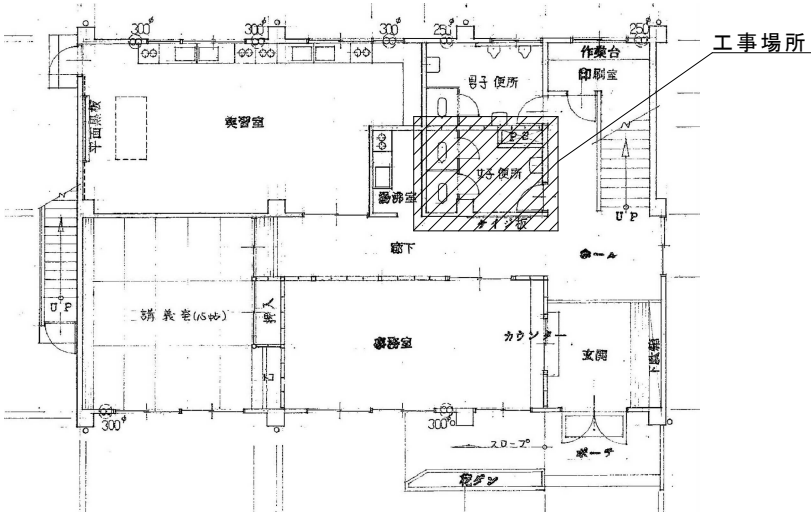
改修後
便所平面詳細図 1:50

	工 事 名	福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事			福山市建設局 建築部 設備課						図 面 N O .
		附近見取図 平面図	S=N. S.	2 0 2 6 年 8 月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	M
	図面名称	平面詳細図	S=1:50								9

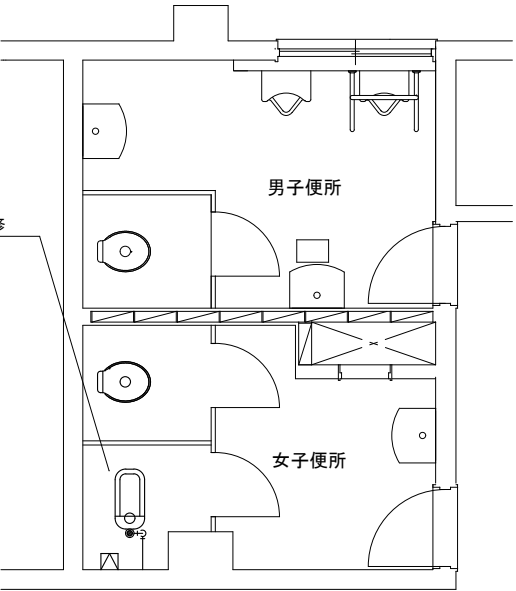
工事場所：福山市幕山交流館 1 階便所
住所：福山市幕山台二丁目24番12号

- 特記事項
- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
 - ・既設給水管とフラッシュバルブ間はSUS管にて施工を行う。
 - ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。

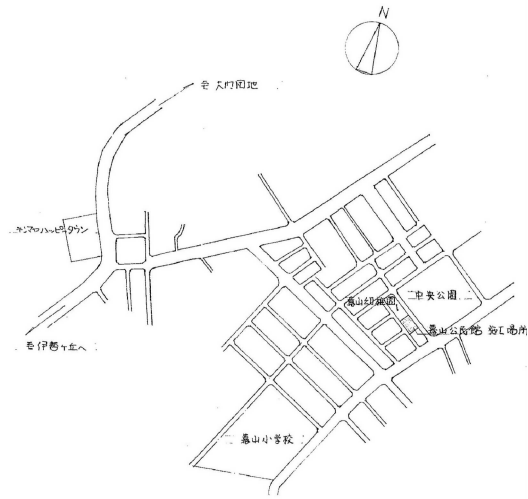
機器リスト（新設）	
器具名（参考品番）	数 量
大便器 (CFS494MNHNS) 排水芯可変タイプ	1
温水洗浄便座 (TCF588) , 分岐金具 TH343	1
紙巻器 (YH51R)	1
手すり (T112CL9)	1



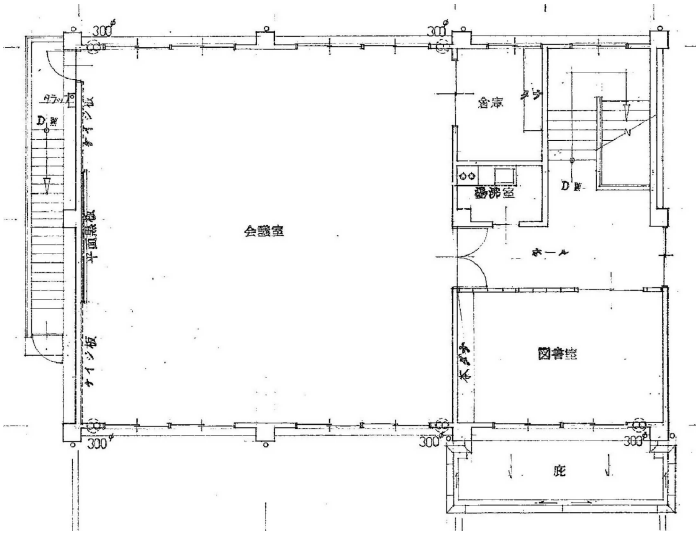
1 階平面図 S=N. S.



改修前
便所平面詳細図 1:50

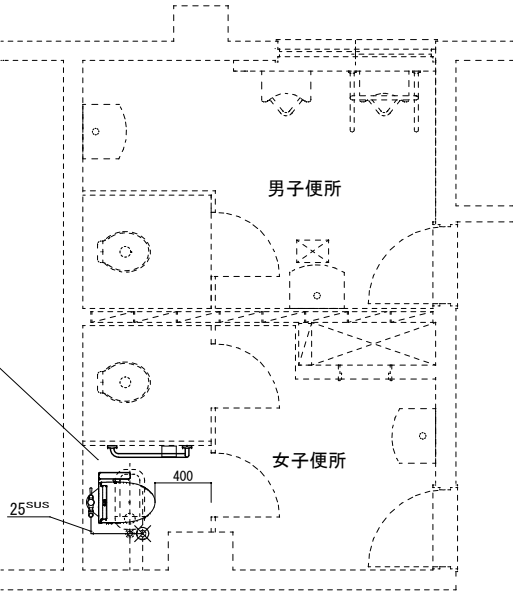


附近見取図 S=N. S.



2 階平面図 S=N. S.

洋風大便器(紙巻器・手すり共)取付



改修後
便所平面詳細図 1:50

	工 事 名	福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事			福山市建設局 建築部 設備課						図 面 N O .
	図 面 名 称	附近見取図 平面図	S=N. S.	2 0 2 6 年 8 月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	M 1 0

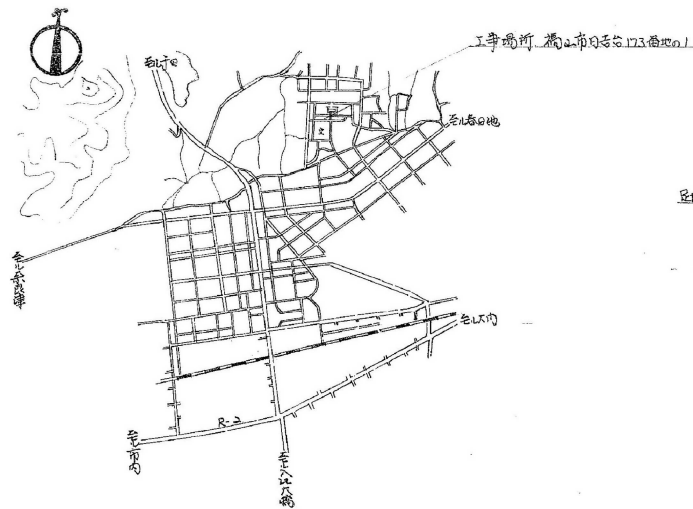
工事場所：福山市日吉台交流館 1 階便所
住所：福山市日吉台一丁目16番27号

- 特記事項
- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
 - ・既設給水管とフラッシュバルブ間はSUS管にて施工を行う。
 - ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。
 - ・トイレブースの改修は本工事とする。

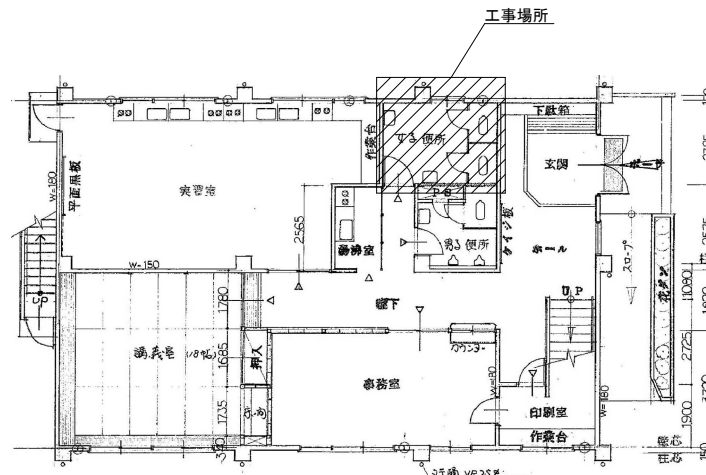
機器リスト (新設)

器具名 (参考品番)	数 量
大便器 (CFS494MNHNS) 排水芯可変タイプ	1
温水洗浄便座 (TCF588) 分岐金具 TH343	1
紙巻器 (YH51R)	1
手すり (T112CL9)	1

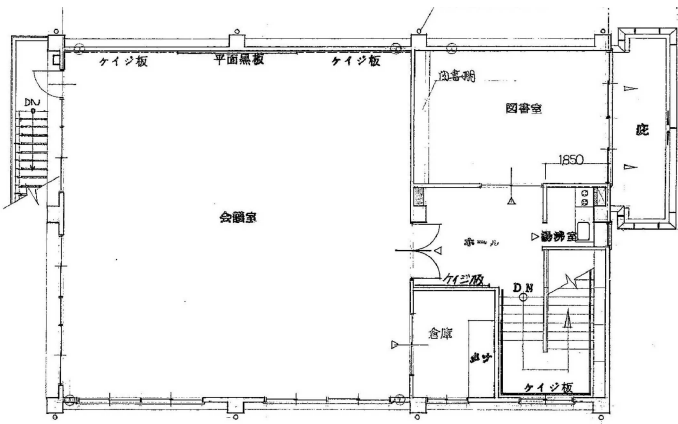
トイレブース 仕様	
メラミン化粧合板フラッシュ	見込 40
h=1750	
アルミエッジタイプ・グラビティヒンジ・	
スライドラッチ錠 (表示付)・戸当り帽子掛け・	
ステンレス製巾木・標準金物一式	
芯材：ペーパーコア	
サイン：カッティングシート	



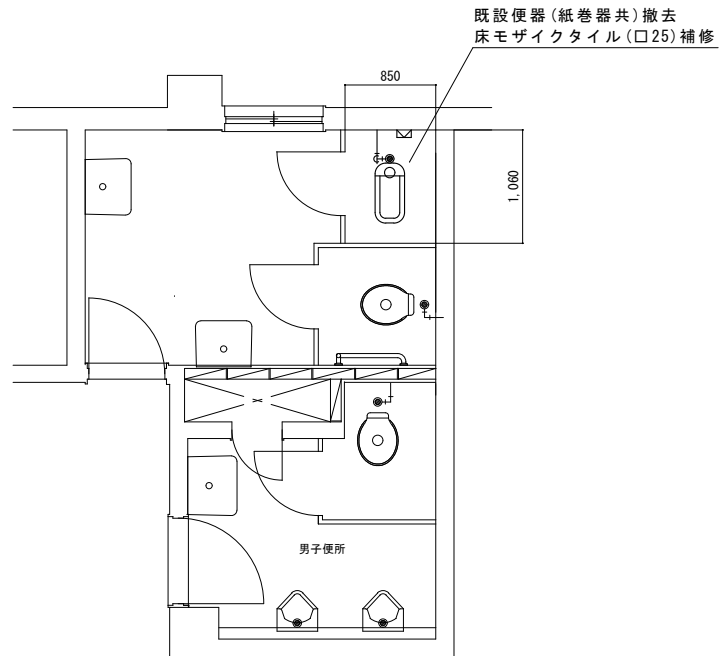
附近見取図 S=N. S.



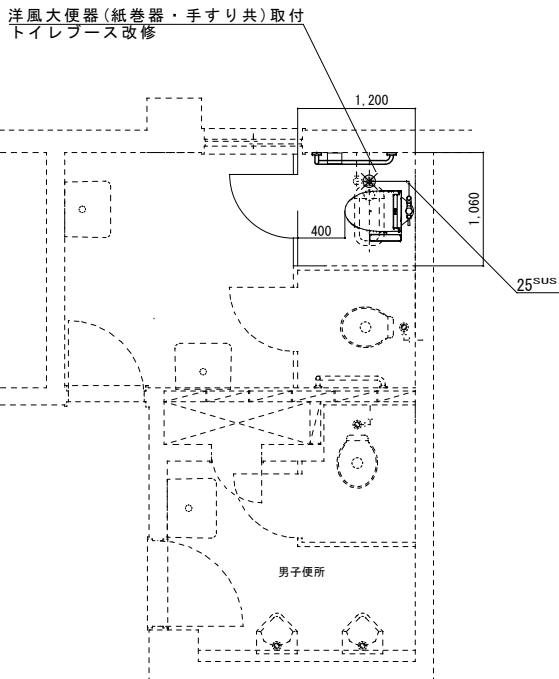
1 階平面図 S=N. S.



2 階平面図 S=N. S.



改修前
便所平面詳細図 1:50



改修後
便所平面詳細図 1:50

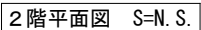
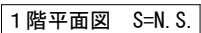
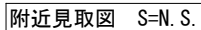
	工 事 名	福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事			 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課						図 面 N O .	
		図 面 名 称	附近見取図 平面図	S=N. S.	2 0 2 6 年 8 月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	M 1 1
			平面詳細図	S=1:50								

特記事項

- ・和洋リモデル工法にて施工を行う。
- ・既設給水管とフラッシュバルブ間はSUS管にて施工を行う。
- ・温水洗浄便座設置に伴う電気設備工事は別途とする。
- ・トイレブースの改修は本工事とする。

器具名（参考品番）	数 量
大便器(CFS494MNHNS) 排水芯可変タイプ	1
温水洗浄便座(TCF588),分岐金具 TH343	1
紙巻器(YH51R)	1
手すり(T112CL9)	1

トイレブース 仕様	
メラミン化粧板フラッシュ	見込 40
h=1750	
アルミエッジタイプ・グラビティヒンジ・	
スライドラッチ錠(表示付)・戸当り帽子掛け・	
ステンレス製巾木・標準金物一式	
芯材：ペーパーコア	
サイン：カッティングシート	



	工 事 名	福山市大谷台交流館他9施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事			 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課						図 面 N O .
		図 面 名 称	附近見取図 平面図 S=N. S.	2 0 2 6 年 8 月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	M 1 2
	平面詳細図 S=1:50										

参考数量書

§ 工事名称 福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修給排水衛生設備工事

§ 工事場所 福山市大谷台三丁目 1 3 番 3 号 外 9 か所

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 福山市大谷台交流館他 9 施設便所洋式化改修
給排水衛生設備工事
工事場所 福山市大谷台三丁目 1 3 番 3 号 外 9 か所

- 【工事概要】
- ・便所洋式化改修工事
大谷台交流館
引野交流館
大門交流館
旭丘交流館
緑野交流館
春日交流館
幕山交流館
緑丘交流館
春日コミュニティ館
 - ・別途工事
電気設備工事

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

福山市

福山市

[illegible]

大谷台交流館

[illegible]

引野交流館

[illegible]

大門交流館

[illegible]

旭丘交流館

[illegible]

緑丘交流館

[illegible]

野々浜交流館

[illegible]

春日交流館

[illegible]

[illegible]

[illegible]

緑丘交流館春日コミュニティ館

[illegible]

福 山 市

福山市

福 山 市

福 山 市

福山市

福山市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市